

製品名: CDK4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87465**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:34 kDa; Observed MW:34 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK4
別名	CMM3; PSK-J3
遺伝子 ID	1019
SwissProt ID	P11802
免疫原	ヒト Cdk4 の合成ペプチド

背景

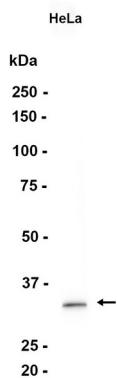
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質は、S.

cerevisiae cdc28 および *S. pombe* cdc2 の遺伝子産物と高い類似性を持っています。これは、細胞周期 G1 期の進行に重要なタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットです。このキナーゼの活性は G1-S 期に限定されており、これは調節サブユニットである D 型サイクリンおよび CDK 阻害剤 p16(INK4a)によって制御されます。このキナーゼは、網膜芽細胞腫遺伝子産物 (Rb) のリン酸化に関与することが示されました。この遺伝子、ならびに D 型サイクリン、p16(INK4a)、Rb などの関連タンパク質の変異は、様々な癌の腫瘍形成に関連することが分かっています。この遺伝子には複数のポリアデニル化部位が報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



CDK4 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。